

# 神代地域運営体だより

第22号

平成26年4月1日号

発行機関 神代地域運営体

発行責任者 藤井英雄

神代字野中清水 292-1

## 産業振興支援部から

2月20日、仙北市角館町のタカヤナギ・ワンダーモール店で開かれた「冬がっこグランプリ」で神代小学校児童の出品した「いぶりダイコン」が昨年に引き続き見事優秀賞に輝きました。



このコンテストは、今年で5回目ですが神代地域運営体と協働でいぶりダイコンづくりを始めて2年目ですが連続の優秀賞の受賞となりました。

2月25日、仙北市角館町タカヤナギ・ワンダーモール店で、神代小学校3年生の児童がいぶりダイコンの販売をしました。神代地域運営体の方々と協働で作った250本のダイコンが約1時間で完売。試食では「おいしい」と大評判。一度お買い求め頂いたお客様がもう一度お越し下さる一幕も。



このいぶりダイコン、春の6年生の修学旅行では、昨年に引き続き八戸の市場で販売を計画しております。昨年は、数量の限定となりお買い求め頂けなかったお客様もいたそうですが、今年はたくさんのダイコンを準備しております。田口校長先生「いっぱい売って儲けるぞ～」と意気込みもマックスに。

神代地域運営体では、この協働で作ったいぶりダイコンの収益金を、神代小学校の教材費用に充てていただく事しております。

また、神代ゆきつばき加工クラブの活動も順調で、オープン後利用者の数も100名以上にのぼり、スタッフも一同一応の成果に地域の方々への感謝している次第であります。



## 青年女性部 室内競技大会

2月17日神友会主催の第2回神代地区麻雀大会がたざわこ芸術村温泉ゆぼぼを会場に行われ、20代から60代まで文字通りの老若男子24名によって熱い戦いが繰り広げられました。普段は年代や住んでいる地域の違いからあまり接点のない人達も対局を通じて親交を深めることができたと思います。

神友会ではこれからも様々な企画を行っていきたく思いますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 福祉支援部からのお知らせです

### ◎除雪支援事業が変わります。

・除雪支援事業は、平成26年度から市の新制度により実施予定であり、これまで地域運営体が主体的に実施してきた除雪支援事業とは取り扱いが異なる予定です。

平成26年度からの除雪支援事業は、市が除雪支援対象者を決定し、その対象者が市に登録した除雪支援事業者・団体等に依頼するスタイルになる予定です。

登録除雪業者・団体等に各地域運営体が登録し除雪支援を実施することも考えられます。その場合は対象者からの依頼に応じて除雪支援を受託し、その分を市に請求することになります。

地域運営体による独自の除排雪支援を排除するものではなく、交付金を活用して地域の実情に応じた事業の展開も可能です。(例:地域内一斉除雪ボランティア等)



### 昨年を振り返り今年度に向けて

桜の開花の便りも聞かれ、春らしさを感じる今日この頃、地域の皆さんにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成22年9月からスタートした神代地域運営体も、地域の皆さまのご理解とご協力を賜り、おかげをもちまして設立5年目を迎えます。この間、当初策定致しました長期5カ年計画に基づく、除雪ボランティア隊による一人暮らしの高齢者を中心とした除雪活動、小集落のシンボルとしてアピール出来る案内看板の設置及び小学校と協働による「食の文化の継承」いぶりダイコン作り等々では一定の評価を頂いております。さらに地場産物の生産から加工、販売システムの確立にもっとも重点を置き最重要課題として取り組んできましたが、25年度、待望の農産加工所の設置並びに加工機械の導入を見ることができました。

今後は農業を基幹産業とする神代地域の活性化により貢献できるよう「若い力」を大いに活かしながら、着実なる前途を図って参りたいと考えます。

さらに、今年度は現在の5つの各支援部の過去4カ年の活動実績と課題等を積み上げ、NPO法人化を図り新たな長期計画を策定し、自立できる神代地域運営体となって行くことを目標に活動を進めて行きたいと考えております。

神代地域運営体会長 藤川正博